

<b>会計学総論</b>		<b>教授 廣瀬 郁雄</b>	
<b>科目カテゴリー</b>	<b>会計ファイナンスコースの 選択必修科目 教職科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>23010102 25320208</b>

### 1. 授業のねらい・概要

1年次の「会計学基礎」の次に、会計学の具体的な内容について学んでいく授業である。さきの「会計学基礎」では、会計学とはどのような学問なのか、またそれは社会においてどのように役立つのかなどを中心に、会計学の勉強の仕方を説明してきました。ここでの「会計学総論」は、企業会計の諸基準を中心に、会計が具体的にどのように行われるのかを解説する。例えば、企業会計原理、金融商品会計基準、連結会計基準、外貨換算基準、原価計算基準、監査基準などが具体的に要求する内容を平易に説明する。

### 2. 授業の進め方

下記の授業計画に従って、適宜、関係資料を配付して授業を進める。

### 3. 授業計画

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 企業会計基準の概要（ガイダンス）</li> <li>2. 企業会計原則の成り立ちとその内容</li> <li>3. 一般原則の内容</li> <li>4. 損益計算書原則の内容</li> <li>5. 貸借対照表原則の内容</li> <li>6. 純資産表示基準の内容</li> <li>7. 金融商品会計基準の内容</li> <li>8. 棚卸資産評価会計基準の内容</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>9. 固定資産の減損会計基準の内容</li> <li>10. リース取引会計基準の内容</li> <li>11. 研究開発費等会計基準の内容</li> <li>12. 退職給付会計基準の内容</li> <li>13. 連結会計基準の内容</li> <li>14. 原価計算基準の内容</li> <li>15. 監査基準の内容</li> </ol>
---	--

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回、授業の前までにシラバスの授業計画による範囲・内容について、あらかじめテキスト等を30分以上読む必要がある。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験に対してその成績結果を必要とする者に対して報告し、必要に応じて再試験を実施する。

### 6. 授業における学修の到達目標

毎回の授業計画に基づいた課題に対して、その内容について答えられるようにすることを到達目標とする。

### 7. 成績評価の方法・基準

期末試験の結果（80%）及び授業への取組み姿勢（20%）で評価する。

### 8. テキスト・参考文献

テキストは、『新版会計法規集』中央経済社を使用するので、毎回授業に必ず持参すること。

### 9. 受講上の留意事項

会計ファイナンスコースを選択する希望する学生は必ず受講すること。また、この講座の次に予定されている専門的な説明を行う「財務会計論A・B」（2年次以上）を受講しようとする学生も必ず受講すること。